



BMX全日本選手権 Elite & Junior

シクリスムエコーNo.133 2006年9月号



第26回アジア選手権自転車競技大会 2
第13回ジュニア・アジア選手権自転車競技大会 2



2006年MTB世界選手権大会 5



第37回全日本実業団自転車競技選手権大会 6
第40回全日本実業団対抗サイクルロードレース大会 6

日本スポーツマスターズ2006自転車競技会 9
第62回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 10



第22回BMX全日本選手権大会 12
第7回アジア室内自転車競技選手権大会 13
2006全日本実業団クリテリウムinいわき 14
2006MTBジャパンシリーズ・ランキング 15
競技大会結果 15
第15回アジア競技大会自転車競技 日本代表候補選手 15
インフォメーションコーナー 16
訃報 / 連盟の動き 16



この広報誌は、「競輪公益資金」の補助を受けました。
<http://www.keirin.jp/>



第26回
アジア選手権
自転車競技大会

第13回
ジュニア・アジア選手権
自転車競技大会



エリート男子スプリント金メダルの北津留(右)



ジュニア男子スクラッチ 金メダルの鳧田(右)



エリート男子ポイント、金メダルの飯島誠(右)と内田

9月8日から16日までマレーシアにおいて、第26回アジア選手権自転車競技大会と第13回ジュニア・アジア選手権自転車競技大会が開催された。

トラック初日、スコールに見舞われ一時中断するハプニングがあったが、ナイター開催で予定のスケジュールは無事にこなされた。

全種目を通して、エリートではスプリントの北都留、ポイントの飯島 誠、ジュニアではスクラッチの鳧田が、金メダルを獲得した。



エリート男子ケイリン決勝、一番左が2位の稲垣



エリート男子団体抜4位の日本



エリート男子チームスプリント2位の日本



エリート男子1kmTT 2位の及川



ジュニア男子1kmTT 3位の坂本



エリート女子ケイリン5位の俣(先頭)



エリート男子マディソンの飯島誠(左)と角

[競技結果]

第26回アジア選手権自転車競技大会
第13回アジア選手権自転車競技大会
(2006/9/8-16 マレーシア)

男子個人ロードレース (89.6km)

- 1 北津留 翼 JPN
- 2 Zhang Lei CHN
- 3 成田 和也 JPN

男子1kmタイムトライアル

- 1 Kang Dong Jin KOR 1:04.342
- 2 及川 裕奨 JPN 1:06.050
- 3 Wu Dan KOR 1:07.114

男子ケイリン

- 1 Mohd Rizal Tisin MAS
- 2 稲垣 裕之 JPN
- 3 Wong Kin Chung HKG
- 6 新田 祐大 JPN

男子4km個人追抜競走

- 1 Jang Sun Jae KOR 4:41.655
- 2 Hwang In Hyeok KOR 4:47.849
- 3 内田 慶 JPN 4:48.428
- 7 川西 貴之 JPN 4:59.283

男子スクラッチ (15km)

- 1 You Tae Bok KOR 20:45.638
- 2 Mohd Sayuit Mohd Zahit MAS
- 3 Wong Kam Po HKG
- 飯島 規之 JPN DNF
- 川西 貴之 JPN DNF

男子ポイントレース (40km)

- 1 飯島 誠 JPN 109p
- 2 Asgari Houssain IRI 66p
- 3 Cheung King Wai HKG 61p
- 内田 慶 JPN DNF

男子マドニオン (50km)

- 1 KOR (+1lap) 23p
- 2 HKG (+1lap) 6p
- 3 IRI 26p
- 5 日本 飯島誠・角 12p

男子チームスプリント

- 1 CHN 1:02.057
- 2 日本 成田・北津留・新田 1:04.985
- 3 MAS 1:03.209

男子4km団体追抜競走

- 1 KOR 4:18.285
- 2 IRI 4:19.873
- 3 TPE 4:26.771
- 4 日本 飯島規・飯島誠・内田・川西 4:29.084

男子個人ロードレース (44.8km)

- 1 Mizuroz Adrey KAZ 56:16.27
- 2 Mizbani Ghader IRI 58:30.91
- 3 飯島 誠 JPN 59:16.13



男子個人ロードレース (173km)

- 1 KOR 1:52:47
- 2 IRI 1:54:46
- 3 日本 阿部・廣瀬・飯島誠・三船 1:55.57



男子個人ロードレース (173km)

- 1 Sohrabi Mehdi IRI 4:08.27
- 2 福島 晋一 JPN 4:08.27
- 3 Hasanin Omar SYR 4:08.27
- 7 飯島 誠 JPN 4:08.27
- 45 阿部 良之 JPN 4:25:54
- 54 三船 雅彦 JPN 4:25:54
- 廣瀬 敏 JPN DNF

女子500mタイムトライアル

- 1 Gong Jinjie CHN 35.542
- 2 Hsiao Mei Yu TPE 36.802
- 3 You Jin A KOR 37.223
- 4 佃 咲江 JPN 38.217

女子スプリント

- 1 Gong Jinjie CHN
- 2 Li Na CHN
- 3 You Jin A KOR
- 6 佃 咲江 JPN

女子ケイリン

- 1 You Jin A KOR
- 2 Li Na CHN
- 3 Hsiao Mei Yu TPE
- 5 佃 咲江 JPN

女子3km個人追抜競走

- 1 Lee Min Hye KOR 3:51.418
- 2 Wang Li CHN 3:53.991
- 3 Liu Yongli CHN 3:56.542
- 9 和田見里美 JPN 4:08.820

女子ポイントレース (24km)

- 1 Li Yan CHN 45p
- 2 Wang Jianling CHN 41p
- 3 Wang Wan Yiu HKG 31p
- 7 和田見里美 JPN 3p

女子個人ロードレース (22.4km)

- 1 Wang Li CHN 31:26.65
- 2 Lee Min Hye KOR 32:16.83

- 3 和田見里美 JPN 33:04.66

女子個人ロードレース (96km)

- 1 Han Song Hee KOR 2:31.39
- 2 Liu Yongli CHN 2:31.39
- 3 Lee Min Hye KOR 2:31.39
- 25 和田見里美 JPN 2:50:39

男子スプリント

- 1 Mohd Azizul Hasni Awng@Muda MAS
- 2 Cheon Ho Shin KOR
- 3 Bae Jeong Hyeon KOR
- 5 坂本 貴史 JPN

男子1kmタイムトライアル

- 1 Mohd Azizul Hasni Awng@Muda MAS 1:06.994
- 2 Lee Gyu Min KOR 1:08.744
- 3 坂本 貴史 JPN 1:08.928

男子ケイリン

- 1 Mohd Azizul Hasni Awng@Muda MAS
- 2 Bae Jeong Hyeon KOR
- 3 Cheon Ho Shin KOR
- 4 松川 高大 JPN
- 6 坂本 貴史 JPN

男子3km個人追抜競走

- 1 You Kin Hong KOR 3:35.111
- 2 Feng Chun Kai TPE 3:36.278
- 3 Seo Joon Kai KOR 3:34.365
- 6 鳶田 義明 JPN 3:44.058
- 10 伊藤 雅和 JPN 3:45.361

男子スクラッチ (10km)

- 1 鳶田 義明 JPN
- 2 Kwok Ho Ting HKG
- 3 Mohd Harrif Salleh MAS
- 5 伊藤 雅和 JPN

男子ポイントレース (24km)

- 1 Feng Chun Kai TPE 37p
- 2 Mohd Harrif Salleh MAS 23p
- 3 Kwok Ho Ting HKG 21p
- 5 鳶田 義明 JPN 11p
- 6 伊藤 雅和 JPN 6p

男子個人タイムトライアル (22.4km)

- 1 Khosroshahi Behman IRI 29:29.39
- 2 Lee Jae Young KOR 29:43.41
- 3 Feng Chun Kai TPE 30:11.86
- 6 鳶田 義明 JPN 31:04.41



男子個人ロードレース (119.7km)

- 1 Kuzin Sergey KAZ 2:51:59
- 2 Afanasyev Alexander KAZ 2:51:59
- 3 Kucherov Andrey KAZ 2:52:40
- 5 鳶田 義明 JPN 2:52:42
- 9 伊藤 雅和 JPN 2:52:47

2006年MTB世界選手権大会

若手選手が20位代!



予選通過に順位が1つ足りなかった。

DHI

DHIは2.2kmのコースで競われた。予選では永田が31位、門脇が38位、井手川が38位であった。好成績の期待された末政は試走中に転倒・負傷し、出走を取りやめた。各選手が予選タイムの更新に苦戦する中で、門脇は果敢に攻めた走りを展開し、23位に順位を上げることができた。

XCO

XCOのコースは1周5.9kmで、周回数はそれぞれ、エリート女子(5周)、ジュニア男子(4周)、U23男子(5周)、エリート男子(7周)で競われた。中でもU23男子にエントリーした山本は、力強い走りを見せて

はじめに

2006年のMTB世界選手権は、ニュージーランド北島のロトルアという町で開催された。この時期の南半球は冬のため、最高気温が13度前後、最低気温は氷点下になることもあった。天候も晴れたり雨が降ったりと安定せず、酷暑の日本との差が激しかった。

大会会場はロトルア郊外の小高い山とその周辺だった。山といっても大きな丘を利用した放牧場のような場所であり、DHIや4Xの機材搬送は全てトラックであった。

参加選手はそれぞれ、4X(栗瀬裕太)、DHI(末政実緒、永田隼也、門脇祥、井手川直樹)、XCO(竹之内悠、小野寺健、山本幸平、片山梨絵、白石真悟、小笠原崇裕、竹谷賢二)であった。

4X

4Xのコースは小高い丘を一つ下りきるほどの標高差があり、日本で開催されている4Xとは別物と言っても過言ではなかった。この種目にエントリーしていた栗瀬は、上位選手と遜色のないスムーズな走りだったが、途中の転倒によりタイムをロスし、32位までの

20位でフィニッシュした。これはU23カテゴリーでの日本人過去最高位という好成績であった。

まとめ

今回の世界戦ではXCOならびにDHIとも若手のカテゴリーに属する選手が20位台の成績を収め、将来性のある展望を得た。今後はこのような若い選手の育成に力を入れ、さらなる発展を目指したい。(西井 匠)



山本 幸平

[競技結果]

2006年MTB世界選手権大会
(2006/8/22-27 ニュージーランド・ロトルア)

XC男子エリート(41.3km)

1	ABSALON Julien	FRA	2:09:07
2	SAUSER Christoph	SUI	2:09:51
3	KESSIAKOFF Fredrik	SWE	2:11:06
55	竹谷 賢二	JPN	-2Laps
66	白石 真悟	JPN	-3Laps
73	小笠原崇裕	JPN	-4Laps

XC男子U23(29.5km)

1	SCHURTER Nino	SUI	1:54:58
2	LONGO Tony	ITA	1:55:48
3	PLAXTON Max	CAN	1:57:33
20	山本 幸平	JPN	2:07:30
32	小野寺 健	JPN	2:10:06

XC男子ジュニア(23.6km)

1	FLUCKIGER Mathias	SUI	1:19:37
2	FANGER Martin	SUI	1:20:29
3	MEYER Pascal	SUI	1:21:00
35	竹之内 悠	JPN	1:30:12

XC女子エリート(29.5km)

1	DAHLE FLESJAA Gunn-Rita	NOR	1:55:19
2	KALENTIEVA Irina	RUS	1:58:05
3	PREMONT Marie-Helene	CAN	1:59:42
34	片山 梨絵	JPN	2:21:26

DH男子エリート(2.2km)

1	HILL Samuel	AUS	3:11.03
2	MINNAAR Greg	RSA	3:15.25
3	RENNIE Nathan	AUS	3:17.16
39	井出川直樹	JPN	3:38.36

DH男子ジュニア(2.2km)

1	COLE Cameron	NZL	3:28.29
2	BLINKINSOP Samuel	NZL	3:29.45
3	BADOUARD Antoine	FRA	3:29.84
23	門脇 祥	JPN	3:48.49
37	永田 隼也	JPN	3:58.30

DH女子エリート(2.2km)

1	JONNIER Sabrina	FRA	3:50.32
2	MOSELEY Tracy	GBR	3:53.83
3	ATHERTON Rachel	GBR	3:57.80
	末政 実緒	JPN	DNS

4X男子

1	PROKOP Michal	CZE	
2	RINDERKNECHT Roger	SUI	
3	TSCHUGG Guido	GER	
33	栗瀬 裕太	JPN	

4X女子

1	KINTNER Jill	USA	
2	BEERTEN Anneke	NED	
3	MOLCIK Anita	AUT	
	末政 実緒	JPN	DNS



第37回 全日本実業団自転車競技選手権大会
 第40回 全日本実業団対抗サイクルロードレース大会
 経済産業大臣旗は Team NIPPO が獲得!



男子スプリント決勝、優勝の片岡(右)と2位の小林

男子スプリント優勝の瞬間の片岡

9月1日～2日、福島県泉崎の国際サイクルスタジアムにおいて、第37回全日本実業団自転車競技選手権(トラックレース)が開催された。

初日開始早々、スプリント予選200mFTTにおいて、1位片岡と2位小林が大会新記録を樹立した。

また、初日の午後、突然の雷雨があったが一時中断で再開された。

2日目、ケイリン決勝では、最終周回2コーナー付近において5名が落車し、フィニッシュラインに到達したのは1名というアクシデントが起きてしまった。



ケイリン決勝、あと1周の4コーナー優勝の栗田はキャップNo.1



3km個抜優勝の大塚



ポイントレース1位の武蔵(右)と2位の普久原

500mTT優勝の川満



チームスプリント優勝のラバネロ



団抜優勝のデュプロ



男子個抜優勝の朝倉



1kmTT優勝の矢野



エリミネーション、2番目が優勝の高橋。



BR-1優勝の岡崎



BR-1先頭集団を引く真鍋

トラックレースに続き9月3日、第40回全日本実業団対抗サイクルロードレース大会が、同じ福島県内の石川町と浅川町、13.6kmの周回コースで開催された。

BR-1では後続のメイングループから一人アタックし、そのまま逃げのグループをも追い抜いたNippoの岡崎が見事優勝した。

[競技結果]

第37回全日本実業団自転車競技選手権 (2006/9/1-2 福島・泉崎)

男子スプリント

- 1 片岡 迪之 Z-1MEDALIST.RC
- 2 小林 信晴 天狗党
- 3 西尾 孝政 デュボロ
- 4 水野 悟志 マット・ロチェ ARIAKE
- 5 湯原 正行 チーム・メイト
- 6 連佛 康浩 Z-1MEDALIST.RC

男子1kmタイムトライアル

- 1 矢野 賢児 マリゴールド T.T 1:09.290
- 2 駒井 大輔 スマタバ 和ハール 1:09.593
- 3 水野 悟志 マット・ロチェ 1:09.832
- 4 片岡 迪之 Z-1MEDALIST 1:09.839
- 5 大村 慶二 デュボロ 1:10.187
- 6 水澤 耕一 スマタバ 和ハール 1:10.201

男子4km個人追抜競走

- 1 朝倉 佳弘 スーパー・Kアスリートホ 4:54.543
- 2 武藤 大輔 マリゴールド T.T 4:58.896
- 3 善波 昭 デュボロ 5:07.431
- 4 山崎 潤 デュボロ 5:10.297

男子ケイリン

- 1 栗田 雄矢 マット・ロチェ ARIAKE
- 駒井 大輔 スマタバ 和ハール-ルイズミ DNF
- 大木 卓也 スマタバ 和ハール-ルイズミ DNF
- 水澤 耕一 スマタバ 和ハール-ルイズミ DNF
- 近藤 寛央 スーパー・Kアスリートホ DNF
- 天野 好崇 天狗党 DNF

男子エリミネーション

- 1 高橋 仁 チーム・チェロ
- 2 糸賀 賢司 チーム・チェロ
- 3 仲松 勝太 チームけんしん
- 4 北川 光治 ミソイレージング チーム
- 5 山口 忠行 チームサイクルワズ
- 6 上田 隆 チームハイテクニカル



女子ロード優勝の西(先頭)と2位の小山

男子ホクトレース (30km)

- 1 武藤 大輔 マリゴールド T.サイクルW 72p
- 2 普久原 奨 チーム・リヂェン・アッカー 64p
- 3 盛 一大 愛三工業レーシング チーム 55p
- 4 西谷 泰治 愛三工業レーシング チーム 39p
- 5 森 真博 マトリックス ワーク 11p
- 6 朝倉 佳弘 スーパー・Kアスリートホ 10p

男子チームスプリント

- 1 スマタバ 和 水澤・駒井・大木 1:06.561
- 2 Z-1MEDALIST 片岡・連佛・小西 1:06.849
- 3 天狗党 小林・林・天野 1:07.227
- 4 マット・ロチェ 落合・栗田・久保田 1:08.200
- 5 けんしん 仲松勝・仲松太・山田 1:12.363

男子4km団体追抜競走

- 1 デュボロ 善波・山崎・大村・西尾 4:51.788
- 2 チェロ 坂本・高橋・糸賀・河上 4:55.091
- 3 スーパー・K 沢口・朝倉・古川・近藤 5:34.487

女子500mタイムトライアル

- 1 川満 佳子 岩井商会レーシング 39.121
- 2 和地 恵美 たかだフレンドレーシング 39.484
- 3 三宅 悠里 天狗党 41.185
- 4 三井 由香 ハートスパー・ルスキノ 41.340
- 5 大塚 沙織 パナニックレーシング チーム 41.979
- 6 中山 朋子 - 42.241

女子3km個人追抜競走

- 1 大塚 沙織 パナニックレーシング 4:16.020
- 2 豊岡 英子 masahikomifune 4:20.109
- 3 西 加南子 スマタバ 和ハール 4:21.553
- 4 和地 恵美 たかだフレンド 4:22.008
- 5 中山 朋子 - 4:34.465
- 6 越田恵美子 PEACE SPORT 4:37.776

第40回全日本実業団対抗サイクルロードレース大会 (2006/9/3 福島・石川)

BR-1 (182.8km)

- 1 岡崎 和也 JPCA Team Nippo 5:04:38
- 2 盛 一大 愛知 愛三工業 5:04:40
- 3 真鍋 和幸 香川 Team Nippo 5:06:02
- 4 廣瀬 佳正 JPCA シルレーシング 5:06:02
- 5 鈴木 真理 JPCA ミタスバル 5:07:22
- 6 山本 雅道 JPCA シルレーシング 5:07:23
- 7 綾部 勇成 神奈川 愛三工業 5:07:23
- 8 阿部 良之 JPCA シルレーシング 5:07:24
- 9 鈴木 謙一 静岡 YOU CAN 5:07:24
- 10 橋川 健 福島 マトリックス 5:07:24

U-23 (182.8km)

- 1 鈴木 譲 東京 YOU CAN 5:14:32
- 2 天沼 雅貴 北海道 マトリックス 5:14:38
- 3 山本 幸平 北海道 プリヂェン 5:14:48

BR-1 団体

- 1 Team Nippo 岡崎・真鍋・清水 15p
- 2 シルレーシング 廣瀬・山本・阿部 18p
- 3 マトリックス 橋川・向川・中川 43p

女子 (40.8km)

- 1 西 加南子 千葉 スマタバ 和 1:17:21
- 2 小山美貴子 埼玉 ZELKOVA 1:17:23
- 3 桜本恵津子 宮城 ヲルキップ 1:18:02
- 4 智野 真央 東京 SERENO 1:18:06
- 5 戸井麻里子 埼玉 なるしまF. 1:20:00
- 6 西出 清香 福井 BALBA R. 1:22:52
- 7 志村みち子 埼玉 ヲルキップ 1:22:55



日本スポーツマスターズ2006 自転車競技会

今回は初のロードレース!

今回で5回目を数える日本スポーツマスターズ。自転車競技はこれまでトラック・レースばかりであったが、今回はロード・レースのマスターズが行われた。また、チーム競技として3時間耐久レースも行われた。

マスターズといえども、カラフルなユニフォームに身を包み、サングラスをかければ、まるで若いライダーそのものである。参加した選手は普段よく練習していると見受けられ、乗車フォームもエリートライダーのフォームと遜色ない力強いフォームだ。今大会ベストラップタイムを叩き出した往年の名選手、国末選手のラップタイムは全日本ロードのラップタイムと比べても遜色ないタイムだ。そして、特筆すべきは完走率の高さで、全出走選手中リタイアは1名のみであった。年齢を重ねても自転車に乗ることを愛してやまない選手ばかりである。(高橋 真)

[競技結果]

日本スポーツマスターズ2006自転車競技会
(2006/9/16-17 広島・中央森林公園)

男子1部 (49.2km)

1	山口 忠行	広島	1:23:07.40
2	國延 和弘	広島	1:25:45.21
3	池田 圭一	大分	1:29:15.91
4	藤井 正	大分	1:29:16.72
5	上田 芳也	高知	1:29:22.91

6	藤原 龍治	岡山	1:29:26.45
7	道山 馨	埼玉	1:29:33.01
8	上村 泰正	山口	1:30:01.61
9	浅野 勝則	岐阜	1:35:47.70
10	加藤 明豊	愛知	1:36:45.26

男子2部 (36.9km)

1	大野二美雄	東京	1:00:24.12
2	山崎 範行	岡山	1:00:24.79
3	末本 大克	広島	1:00:25.23
4	酒居 良和	広島	1:00:28.23
5	岡武 孝浩	岐阜	1:04:20.60
6	金 世保	愛知	1:04:50.67
7	井上 亨	高知	1:07:56.03
8	平野 政一	山口	1:08:34.55
9	表 寿史	石川	1:09:04.18
10	徳田 省二	滋賀	1:09:07.72

男子3部 (24.6km)

1	國末 明	山口	39:44.65
2	服部比呂詩	岐阜	41:46.19
3	浅倉 基	富山	42:00.33
4	藤岡 英景	兵庫	42:08.52
5	長谷部博則	高知	42:48.05
6	和泉 豊久	愛知	42:50.29
7	西井 庸思	香川	42:50.84
8	岡田 祥昌	広島	45:39.54
9	長谷 秀樹	石川	45:46.21
10	伊神 和史	岐阜	49:09.56

男子4部 (24.6km)

1	井上 善広	広島	42:50.01
2	川崎 正志	大阪	42:57.98
3	三輪 進	兵庫	43:00.88
4	高橋 秀樹	静岡	45:19.49
5	深田 宏	滋賀	46:30.57
6	今 茂行	石川	46:33.66
7	村上 友徳	福岡	50:07.15

8	黒木 高雄	福岡	50:22.69
9	永田 秀彦	山口	55:15.10

男子5部 (24.6km)

1	木坂 哲也	福岡	44:17.92
2	尾谷 昭一	滋賀	47:38.27
3	伊藤 茂	広島	48:02.32
4	山根 博敏	高知	51:52.35
5	藤田 照夫	埼玉	53:44.90
6	安井 光造	滋賀	54:03.08

男子6部 (24.6km)

1	山本 章造	岡山	45:42.59
2	櫻井 雅夫	静岡	47:32.41
3	島田 正	徳島	47:32.58
4	飯泉 富男	東京	47:32.73
5	加藤 健治	愛知	47:36.67
6	池田 孝男	香川	51:55.98
7	江崎 博之	福岡	53:46.21
8	中山 勝男	東京	56:32.39

女子 (24.6km)

1	高松美代子	東京	49:39.38
2	八幡富美代	石川	54:03.49
3	山根由紀子	高知	56:46.88

3時間エンデュロ

1	広島C	山口・國延・末本・酒居	38laps
2	岐阜・愛知	浅野・岡武・伊神・金	37laps
3	静岡	高橋・櫻井	36laps
4	石川	中谷・長谷・表・今	36laps
5	埼玉	高橋・藤田・道山・平尾	36laps
6	広島E	三上・村岡	32laps
7	広島D	古川・甲斐・井上・河原	30laps
8	山口	平野・宮岡・永田・永田	29laps
9	広島B	手島・谷口	29laps
10	福岡	村上・江崎・山田・黒木	29laps



第62回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

文部科学大臣杯“インカレ”



ケイリン決勝



団抜優勝の日大

大学生最大規模の大会である“インカレ”が、4年振りに日本CSCで開催された。今年も本大会は、学生日韓戦の代表選考を兼ねており、将来が楽しみな学生上位選手による熱戦が繰り広げられた。男子総合では日本大学が他校を圧倒し、トラック全8種目中、実に6種目を制して、総合24連覇を達成した。また、女子総合では躍進著しい鹿屋体育大学が、中・長距離種目で選手層の厚さを見せ、3連覇を飾った。

【男子トラックレース】

スプリントは、予選200mで10秒台を出した4名を中心に、ハイレベルな戦いとなった。決勝は屋良(日大)vs.前田(鹿屋体育大)という、昨年の再現となり注目を集めたが、レース巧者である屋良が2本連取、この種目2連覇を飾った。

1kmタイムトライアルは、雨天の影響で記録的には低調であったが、逆に順位争いは熾烈となり、城(日大)が他の強豪を破ってインカレ初優勝に輝いた。

今や学生連盟だけの実施種目となったタンデムスプリント。東北学院大ペアと日大ペアが、決勝3回戦までの接戦を繰り広げたが、ゴール前で日大ペアが競り勝ち、タイトルを奪取した。

4kmインディヴィデュアルパーシュートは、決勝で川西(日大)が予選1位の根本(明大)を徐々に引き離し、予選で2位に甘んじた雪辱を果たし優勝した。

ポイントレースは、長江(中大)守澤(明大)蛭名(東北学院大)兼平(日大)が序盤から得点を重ねてリードし、他校が追う展開となった。しかし、40kmのレースにおいて長江の勢いは止まらず、積極的な走り得点を重ねた長江が、インカレ初優勝を飾った。

チームスプリントは、今年から団体種目の中でチームパシュートと両方にエントリーが可能となったため、強豪校が出揃い混戦となった。中でも、鹿屋体育大が決勝では短距離選手層の厚い日大を相手に、息をのむ接戦を制し、ト

ラック団体種目での初優勝を果たした。

4kmチームパーシュートは、日大vs.朝日大の決勝戦となった。朝日大は、岐阜の若手選手を育成することで近年着実に力をつけて来ているチームであるが、地力に勝る日大が徐々にリードを広げ、唯一4分20秒台の好タイムで優勝を飾った。

【女子トラックレース】

昨年台風の目となった佃(北海商科大)が、今年も持ち前のスプリント力とスタミナを発揮し、スプリント、ポイントレースの2冠に輝いた。

しかし、500mタイムトライアルは篠崎(明大)が女子短距離では先輩の意地を見せ、唯一37秒台のタイムで優勝を飾った。

3kmインディヴィデュアルパーシュートは、決勝で新戦力の和田見(中京大)が、昨年優勝の萩原(鹿屋体育大)に挑んだが、萩原が終始安定した走りで先着し、2連覇を飾った。

今年から新種目となった女子チーム



スプリント決勝。右が優勝の屋良



タンデム決勝。左が優勝の日大

スプリント。2名による対戦であるが、女子にも団体種目が誕生したことで、短距離陣の活性化となれば幸いである。決勝は沼部・栗原(順大)と篠崎&石井(明大)の対戦となったが、順大が僅差で制し、この種目初代チャンピオンに輝いた。

【男子個人ロードレース】



男子ロード、先頭は三瀧



男子ロード優勝の中島

近年はCSCの長距離レースを1人で逃げ切る展開は、あまり見られないが、今回は序盤から中島(鹿屋体育大)が抜け出し、他選手が追う展開となった。後方集団から数名が追走するが再び吸収され、終盤には日大勢も集団を引きペースを上げる。しかし、ついには中島が100km以上を逃げ切る見事な走り

で、インカレロード初優勝を飾った。

【女子個人ロードレース】

女子は、萩原、宮崎、杉村の布陣で挑む鹿屋体育大がレースの中心となった。メイン集団の人数が絞られて来た終盤、エースの萩原が満を持して逃げ独走体制に入り、余裕のインカレロード2連覇を達成した。(倉田 達樹)

[競技結果]

第62回全日本大学対抗選手権大会
(2006/8/31-9/3 静岡・日本CSC)
トラック：8/31-9/2 北400mバンク
ロード：9/3 5kmサキキ

男子ロード

- 1 屋良 朝春 日本大学
- 2 前田 義和 鹿屋体育大学
- 3 佐川 翔吾 順天堂大学
- 4 鈴木雄一朗 日本大学
- 5 東矢 昇太 中央大学
- 6 村松 俊弥 朝日大学

男子1kmタイムトライアル

- 1 城 幸弘 日本大学 1:08.089
- 2 屋良 朝春 日本大学 1:08.519
- 3 西村 光太 早稲田大学 1:08.521
- 4 湯浅 大輔 法政大学 1:09.142
- 5 内田 晃弘 順天堂大学 1:09.299
- 6 角 令央奈 鹿屋体育大学 1:09.329

男子ケイリン

- 1 鈴木雄一郎 日本大学
- 2 東矢 昇太 中央大学
- 3 山田 佳典 朝日大学
- 4 川崎 大慈 順天堂大学
- 5 岡本 光由 早稲田大学
- 6 仲村 天晴 明治大学

男子4km個人追抜競走

- 1 川西 貴之 日本大学 4:52.252
- 2 根本 哲吏 明治大学 4:55.257
- 3 太田 貴明 京都産業大学 5:01.340
- 4 土屋 壮登 京都産業大学 5:03.017
- 5 菊池 誠晃 朝日大学 5:01.519
- 6 大村 寛 法政大学 5:01.639

男子ホクトレース

- 1 長江 寿也 中央大学 46p
- 2 守澤 大志 明治大学 32p

- 3 蛭名 洋平 東北学院大学 29p
- 4 兼平 純 日本大学 20p
- 5 辻本 翔太 順天堂大学 19p
- 6 柴田 一樹 朝日大学 18p

男子タイムトライアル

- 1 佐藤・城 日本大学
- 2 三浦・櫻井 東北学院大学
- 3 西村・安福 早稲田大学
- 4 岡・古山 京都産業大学
- 5 光富・川本 法政大学
- 6 鷲原・高木 朝日大学

男子チームタイムトライアル

- 1 鹿屋体育大 前田・高見・角 1:19.157
- 2 日本大学 佐藤・我妻・阿部 1:19.215
- 3 順天堂大学 土屋・佐川・内田 1:18.899
- 4 東北学院大 山田・三浦・櫻井 1:21.895
- 5 法政大学 湯浅・白鳥・川本 1:21.077
- 6 中央大学 桜井・鬼塚・東矢 1:21.620

男子4km団体追抜競走

- 1 日本大学 青木・矢代・小豆畑・川西 4:29.972
- 2 朝日大学 菊池・中島・横田・井関 4:35.696
- 3 法政大学 高橋・池浦・遠藤・成田 4:34.878
- 4 明治大学 立里・根本・守澤・湯浅 4:35.854
- 5 鹿屋体大 三瀧・村上・奥田・角 4:39.714
- 6 早稲田大 吉次・上松瀬・西村・安福 4:40.828

男子個人ロードレース(120km)

- 1 中島 康晴 鹿屋体育大学 3:35:19
- 2 漆澤 均 日本大学 +02:36
- 3 村出真一朗 順天堂大学 +02:38
- 4 渡辺 将大 中央大学 +02:40
- 5 大庭 伸也 日本大学 +02:40
- 6 飯塚 航 中央大学 +02:43
- 7 辻 善光 立命館大学 +02:51
- 8 三瀧 光誠 鹿屋体育大学 +0:02:59
- 9 上野原洋介 日本大学 +0:03:00
- 10 舟木 誠 日本大学 +0:03:17

男子大学対抗得点

- 1 日本大学 102p
- 2 鹿屋体育大学 50p
- 3 順天堂大学 44p
- 4 中央大学 42p
- 5 朝日大学 27p
- 6 法政大学 24p

女子500mタイムトライアル

- 1 篠崎 新純 明治大学 37.828
- 2 佃 咲江 北海商科大学 38.691
- 3 沼部早紀子 順天堂大学 39.103

女子ロード

- 1 佃 咲江 北海商科大学
- 2 篠崎 新純 明治大学
- 3 沼部早紀子 順天堂大学

女子3km個人追抜競走

- 1 萩原麻由子 鹿屋体育大学 4:05.496
- 2 和田見里見 中京大学 4:08.409
- 3 井上 玲美 法政大学 4:12.906

女子ホクトレース

- 1 佃 咲江 北海商科大学 23p
- 2 萩原麻由子 鹿屋体育大学 18p
- 3 宮崎 杏奈 鹿屋体育大学 10p

女子チームタイムトライアル

- 1 順天堂大学 沼部・栗原 59.272
- 2 明治大学 篠崎・石井 1:00.059
- 3 日本体育大学 花山・牛島 1:02.970

女子個人ロードレース(50km)

- 1 萩原麻由子 鹿屋体育大学 1:42:58
- 2 和田見里見 中京大学 +01:07
- 3 宮崎 杏奈 鹿屋体育大学 +03:55

女子大学対抗得点

- 1 鹿屋体育大学 25p
- 2 北海商科大学 13p
- 3 順天堂大学 12p

第22回BMX全日本選手権大会

Elite & Junior 決勝、落車で番狂わせ



9月17日茨城県ひたち海浜公園において第22回BMX全日本選手権大会が開催された。

危惧された天候もなんとかもち、各クラスの予選～決勝までがテンが良く進められた。

また最終の Elite & Junior クラスにおいては、途中落車で番狂わせが起こる一幕もあった。

〔競技結果〕

第22回BMX全日本選手権大会
(2006/9/17 茨城・ひたち海浜公園)

Elite & Junior

- 1 FUJISAWA Yuichi 岡山 MXマックス
- 2 TAKAYAMA Kazushige 関東 MXマックス
- 3 TUKAHARA Yoshito 中部 グルグーイ
- 4 NOBUKIYO Ryota 岡山 レッドライン
- 5 MIURA Susumu 関西 ブリズトン
- 6 FUJIWARA Kaito 関東 MXHaro
- 7 SAKAMOTO Akifumi 関西 authorized
- 8 KURODA Jun 関東 MX/HARO



本人もびっくりの、チャンピオン藤沢



Elite & Junior 決勝、この後落車が發生。優勝の藤沢はまだ後方にいる。(No.3)

第7回アジア室内自転車競技選手権大会

サイクルサッカー 日本優勝!

[競技結果]

第7回アジア室内自転車競技選手権大会
(2006/9/9-10 本コン・チャイ)

サイクルサッカー

	日本	香港	マレーシア	マカオ	勝点	順位
日本		6:1	5:1	18:1	9	1
香港	1:6		5:4	16:0	6	2
マレーシア	1:5	4:5		13:0	3	3
マカオ	1:18	0:16	0:13		0	4

最終順位

- 1 日本 時倉 宗大 / 藤田 洋介
- 2 香港 LO Man Fai / HO Wing Tai
- 3 マレーシア Zulkifli Bin Senin / Mohd Zikri B Dahlan
- 4 マカオ LAI U Hin / CHAN Weng Keong

サイクルタイムアップ男子シングル

- 1 YU Sum Yee 香港 330.17
- 2 WONG Hang Cheong マカオ 321.81
- 3 YU Pok Man 香港 286.30
- 4 LOU Weng lan マカオ 262.62
- 5 芝山 耕輔 日本 227.53



日本航空

空で逢いましょう。



Dream Skyward.

JAL

ご予約・お問い合わせ

www.jal.co.jp

国内線 ☎ 0120-25-5971
(営業時間 6:30~22:00/年中無休)

国際線 ☎ 0120-25-5931
(営業時間 8:00~21:00/年中無休)



2006全日本実業団クリテリウムinいわき

見事ゴールスプリントを制した山本



[競技結果]

2006全日本実業団クリテリウムinいわき
(2006/9/23-24 福島・いわき)

BR-1 (50km)

- | | | | |
|----|-------|--------------|---------|
| 1 | 山本 雅道 | JPCA シムルーシング | 1:18:10 |
| 2 | 新保 光起 | JPCA 愛三工業 | 1:18:10 |
| 3 | 森 真博 | 香川 マトリックス | 1:18:11 |
| 4 | 橋川 健 | 福島 マトリックス | 1:18:11 |
| 5 | 高野 淳 | 神奈川 ミヤタパール | 1:18:12 |
| 6 | 廣瀬 佳正 | JPCA シムルーシング | 1:18:23 |
| 7 | 秋田 謙 | 愛知 愛三工業 | 1:18:25 |
| 8 | 加川 紗織 | 静岡 SPADE ACE | 1:18:25 |
| 9 | 品川 真寛 | 京都 シムルーシング | 1:18:25 |
| 10 | 辻 貴光 | 京都 シムルーシング | 1:18:25 |

未永くお付き合いいただくために。



シマノ製品をご愛用いただきまして

ありがとうございます。

シマノではユーザーの皆様へ、当社製品と

未永くお付き合いいただけるよう、

各種補修用パーツをご用意しております。

- 製品についている取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。
- 機能保証のために分解できないパーツもあります。
- お近くの自転車店でご相談下さい。別途送料がかかる場合があります。
- 在庫状況により、品切れの場合もあります。予めご了承下さい。

SHIMANO

www.shimano.com

XBC001-A

2006 MTBジャパンシリーズ・ランキング

加スカトリ男子

順位	名 前	Cl.	登録	point
1	竹谷 賢二	M	千葉	832
2	小野寺 健	U	北海道	800
3	白石 真悟	E	大阪	717
4	小笠原崇裕	E	長野	715
5	野口 忍	M	京都	685
6	門田 基志	M	愛媛	657
7	色川 浩樹	E	茨城	642
8	山口 孝徳	M	長野	621
9	松本 駿	M	長野	566
10	山本 幸平	U	新潟	509
11	山本 和弘	E	北海道	498
12	江下健太郎	E	福岡	498
13	辻浦 圭一	E	奈良	436
14	柴田健太郎	M	大分	431
15	武井 亨介	E	茨城	422
16	山辺 誠司	E	埼玉	405
17	後藤 清作	E	長野	404
18	藤本弥之助	E	山口	400
19	NA, SANG HOON	U	KOR	395
20	小林 聖	M	長野	395
21	大橋 穂高	U	山梨	376
22	SHIN, DONG RYEL	U	KOR	372
23	竹之内 悠	J	京都	308
24	佐藤あきら	E	愛知	302
25	宇田川聡仁	E	静岡	288
26	神谷 知明	M	東京	279
27	小林 義典	M	大阪	276
28	小野 良太	M	兵庫	275
29	畦地 利哉	M	岐阜	264
30	細井 陽介	E	岡山	259

ダカトリ男子

順位	名 前	Cl.	登録	point
1	安達 靖	M	愛知	500
2	内嶋 亮	E	東京	484
3	井手川直樹	E	広島	447
4	丸山由紀夫	E	愛知	378
5	柴田 幸治	E	神奈川	349
6	向原 健司	E	大阪	345
7	丸山 弘起	M	長野	340
8	青柳修一郎	E	東京	321
9	竹本 将史	E	埼玉	294
10	青木 卓也	E	東京	287
11	大島 礼治	M	兵庫	263
12	三宅 和之	M	埼玉	258
13	和田 良平	E	神奈川	251
14	金子 真吾	E	長野	250
15	永田 隼也	J	神奈川	241
16	櫻井 孝太	E	新潟	224
17	河合 良紀	M	三重	223
18	朝日 昌彦	E	埼玉	213
19	伊藤 隆高	E	愛知	195
20	高橋 唯之	E	福島	191
21	飯田 隆彦	J	東京	187
22	門脇 祥	J	新潟	182
23	三輪 和弘	M	神奈川	171
24	淵野 厚志	E	静岡	170
25	赤堀 吉功	M	岐阜	164
26	小山 航	E	新潟	162
27	伊藤 康喜	M	東京	158
28	黒川陽二郎	E	石川	148
29	岩手 信	M	和歌山	146
30	伊藤 雅人	E	北海道	143

加スカトリ女子

順位	名 前	Cl.	登録	point
1	片山 梨絵	E	神奈川	950
2	矢沢みつき	M	山梨	767
3	深井 薫	M	大阪	754
4	田近 郁美	M	岐阜	715
5	田崎 綾	M	千葉	510
6	丸山八智代	M	長野	508
7	酒井 真清	M	大阪	352
8	笹本 みき	M	山梨	317
9	光田 真基	E	三重	301
10	佐々木優子	E	茨城	245

ダカトリ女子

順位	名 前	Cl.	登録	point
1	福本 弘佳	M	兵庫	487
2	飯塚 朋子	E	大阪	417
3	池田 恭子	M	東京	409
4	富田 敬子	M	奈良	401
5	服部 良子	M	神奈川	378
6	佐藤 百江	E	東京	347
7	楳本百合子	M	兵庫	326
8	菅原 亮香	M	岩手	325
9	渡辺 キリ	M	長野	305
10	河内喜久江	E	神奈川	297

競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

JCF MTBジャパンシリーズ 白鳥大会DH#3
(2006/9/2-3 岐阜・白鳥)

DHリフト男子(1.93km)

1	安達 靖	愛知	Ikuzawa	3:00.967
2	井手川直樹	広島	G Cross	3:02.992
3	内嶋 亮	東京	G Cross	3:03.793
4	永田 隼也	神奈川	KAMIKAZE	3:07.445
5	櫻井 孝太	新潟	アトリア学校	3:08.202
6	丸山由紀夫	愛知	Mom&Pop's	3:08.343
7	柴田 幸治	神奈川	A&F	3:09.216
8	向原 健司	大阪	Team KHS	3:09.989
9	大島 礼治	兵庫	MTBmaga.	3:11.043
10	青木 卓也	東京	GIANT	3:11.744

DHリフト女子(1.93km)

1	福本 弘佳	兵庫	輪娛	3:48.912
2	飯塚 朋子	大阪	ATOMIC R.	3:51.015
3	服部 良子	神奈川	風魔横浜	3:54.397
4	富田 敬子	奈良	TECH IN	3:57.748
5	池田 恭子	東京	Cannondale	3:59.394
6	尾芦 資子	東京	風魔	4:09.379
7	佐藤 百江	東京	SY-Nak	4:26.280
8	楳本百合子	兵庫	KOUTA	4:35.483
9	菅原 亮香	岩手	AKI FACT.	4:38.633
10	河内喜久江	神奈川	B.C.porter	4:55.760

JCF MTBジャパンシリーズ 大鰐大会DH#4

XC#7(2006/9/9-10 青森・大鰐温泉)

DHリフト男子(3.2km)

1	内嶋 亮	東京	G Cross	3:40.037
2	安達 靖	愛知	Ikuzawa	3:41.375
3	井手川直樹	広島	G Cross	3:42.271
4	丸山由紀夫	愛知	Mom&Pop's	3:48.916
5	柴田 幸治	神奈川	A&F SANT.	3:50.208
6	丸山 弘起	長野	Canondale	3:50.449
7	青木 卓也	東京	GIANT	3:50.788

第15回アジア競技大会自転車競技 日本代表候補選手

大会名 第15回アジア競技大会自転車競技

大会日程 ロード:2006/12/3-6、トラック:2006/12/9-14

代表候補選手

男子トラック短距離

成田 和也(JPCA・JPCU福島)・北津留 翼(JPCA・JPCU福岡)・及川 裕奨(JPCA・JPCU岩手)

新田 祐大(JPCA・JPCU福島)・海老根恵太(JPCA・JPCU千葉)・稲垣 裕之(JPCA・JPCU京都)

渡邊 一成(JPCA・JPCU福島)

男子トラック中距離

飯島 規之(JPCA・JPCU埼玉)・内田 慶(JPCA・JPCU栃木)・飯島 誠*(JPCA・チームプリヂストン・アンカー)

角 令央奈(兵庫・鹿屋体育大学)・西谷 泰治(愛知・愛三工業レーシング)・盛 一大*(愛知・愛三工業レーシング)

男子ロード

別府 史之(JPCA・ディスカバリーチャンネル)・岡崎 和也(JPCA・Team NIPPO)・廣瀬 敏(石川・愛三工業レーシング)

阿部 良之(JPCA・スキルシマノ)・鈴木 真理(JPCA・ミヤタスバルレーシング)

女子トラック短距離

篠崎 新純(千葉・明治大学)・沼部早紀子(栃木・順天堂大学)・佃 咲江(北海道・北海商科大学)

女子トラック中距離

和田見里美(鳥取・中京大学)・萩原麻由子*(群馬・鹿屋体育大学)・村中恵美子(東京・GSキヨ・ミヤザワ)

女子ロード

沖 美穂(JPCA・ラ・ピスタ・ワナビ)・唐見実世子(JPCA・キナンCCD)

*はロードも兼任

8	青柳修一郎	東京	Specialized	3:51.767
9	永田 隼也	神奈川	加加'	3:51.962
10	竹本 将史	静岡	AKI FACT.	3:53.615
DHリト女子 (3.2km)				
1	福本ヒロカ	兵庫	輪娛Dト'	4:37.958
2	池田 恭子	東京	キャノデール	4:39.736
3	富田 敬子	奈良	TECH-IN	4:40.116
4	服部 良子	神奈川	風魔 横浜	4:41.395
5	尾芦 資子	東京	風魔 吉祥寺	4:49.705
6	佐藤 百江	東京	SY-Nak	4:50.977

7	菅原 亮香	岩手	AKI FACT.	5:03.543
8	河内喜久江	神奈川	B.C.porter	5:08.824
9	清水 友香	栃木	B.C.porter	5:28.042
10	飯塚 朋子	大阪	ATOMIC R.	5:52.158
XCリト男子 (29.5km)				
1	野口 忍	京都	TREK	2:04:40.92
2	辻浦 圭一	長野	ブリヂストン	2:05:00.97
3	小野寺 健	京都	SUBARU	2:05:13.33
4	門田 基志	愛媛	Specialized	2:09:10.38
5	白石 真悟	大阪	沢パワカガ	2:09:31.33

6	松本 駿	長野	TREK	2:10:12.22
7	後藤 清作	長野	GIANT J.	2:15:39.57
8	色川 浩樹	茨城	Specialized	2:16:27.29
9	山口 孝徳	長野	SUBARU	2:18:35.03
10	RICHARD Knapp	長野	MRAZEK	2:19:25.55
XCリト女子 (23.6km)				
1	片山 梨絵	神奈川	TREK	2:00:12.64
2	矢沢みつみ	山梨	SY-Nak	2:06:04.38
3	田中クララ	埼玉	SY-Nak	2:18:07.33
4	深井 薫	大阪	BMC.FKI.	-1lap

インフォメーションコーナー

中野浩一氏紫綬褒章受章を祝う会

春の褒章において世界選10連覇などの功績により紫綬褒章を受章した中野浩一氏の受章を祝う会が、8月30日東京ドームホテルにて自転車関係者はじめ芸能、マスコミ等各界から500名が出席して盛大に行われた。

10月は体力づくり強化月間

今年の標語は「遊ぼうよ地球はぼくらの運動場」です。この秋スポーツにレジャーにそして自転車に親しみ、健康・体力づくりにみんなで取り組みましょう。

読者プレゼント

11月4日～5日幕張メッセ、11月11日～12日インテックス大阪で開催される「サイクルモード2006」の入場券を抽選で3名の方にペアでプレゼントいたします。お申込は10月15日までにハガキで編集事務局までお申込みください。

訃報

本連盟顧問 杉原鏘一郎氏(享年77歳)におかれましては、9月19日ご逝去されました。ここに慎んでお知らせいたします。

連盟の動き (8月下旬～9月中旬)

8月25日	ツール・ド・インドネシア日本代表選手団出発	於：インドネシア(帰国 9/6)
9月 4日	アジア選手権トラック日本代表選手団出発	於：マレーシア・クアラルンプール(帰国 26日)
	ジロ・デ・トスカーナ日本代表選手団出発	於：イタリア・トスカーナ(帰国 12日)
5日	平成18年度第2回総務委員会	於：東京・自転車会館
7日	アジア選手権トラック日本代表選手団出発	於：マレーシア・クアラルンプール(帰国 26日)
9日	ジロ・デ・トスカーナ女子日本代表選手団出発	於：イタリア・トスカーナ(帰国 19日)
10日	アジア選手権ロード日本代表選手団出発	於：マレーシア・クアラルンプール(帰国 26日)
12日	ジロ・デ・バジリカータ	於：イタリア・バジリカータ(帰国 19日)
13日	ACC理事会	於：マレーシア・クアラルンプール
18日	ロード世界選日本代表選手団出発	於：オーストリア・ザルツブルグ(帰国 26日)
20日	平成18年度第2回常務理事会・選手強化本部会	於：東京・自転車会館

JCF協賛スポンサー



シクリスムエコー No.133 2006年9月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯昭一

編集人/加藤 昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>